

ステート・ストリート先進国株式・低ボラティリティ・アルファ・オープン (為替ヘッジあり)

月次運用報告書

基準日：2021年10月29日

追加型投信／海外／株式

[商品概要]

設定日：2016年9月21日 信託期間：無期限

設定・運用：

決算日：11月15日（休業日の場合は翌営業日）

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

基準価額	14,834円
純資産総額	2,695百万円
銘柄数（マザーファンド）	106
マザー受益証券投資比率	102.3%

マザー純資産総額	14,217百万円
推定リスク	3.74%

分配実績（税引前、1万口当たり）

決算期	分配金
第1期（2016年11月15日）	0円
第2期（2017年11月15日）	80円
第3期（2018年11月15日）	0円
第4期（2019年11月15日）	0円
第5期（2020年11月16日）	0円
設定来累計	80円

<商品の特色>

◆投資目的

日本を除く世界の主要国の株式を投資対象としたグローバル・マネージド・ボラティリティ・アルファ・マザーファンド受益証券に投資し、また実質的な組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行うことにより、中長期的にMSCIコクサイ指数（円ヘッジベース）の動きを上回る投資成果の獲得を目指して運用を行います。
なお、グローバル・マネージド・ボラティリティ・アルファ・マザーファンドにおいて、委託会社は運用の指図に関する権限の一部をステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ・トラスト・カンパニーに委託し、独自開発の計量的手法に基づいた銘柄選択により、中長期的にMSCIコクサイ指数（円ベース）の動きを上回る投資成果の獲得を目指して運用を行います。

◆投資対象

グローバル・マネージド・ボラティリティ・アルファ・マザーファンド受益証券を主たる投資対象とします。

<10月の市場概況>

10月の外国株式市場は、インフレの加速に対する警戒感が高まった一方で好調な企業業績や原油高を背景にリスク選好の動きが広がり大幅上昇となりました。米国株式市場は、堅調な製造業景況指数や原油高を好感し上昇していましたが、4日にはインフレ高止まりへの警戒感から反落しました。その後は原油高が投資家心理を支えたほか、米債務上限を巡る協議の進展を受けて上旬は上昇して来ました。中旬に入ると足元のエネルギー価格の急騰を背景としたインフレ懸念から一時は反落する局面もありましたが、その後は米長期金利上昇の落ち着いた加え堅調な企業決算や9月米小売売上高の予想外の増加を好感して再び上昇基調に転じました。下旬に入ってもインフレ圧力のリスクと企業決算の動向に左右される展開となりましたが、良好な企業決算が投資家の買い安心感に繋がって主要株価指数が過去最高値を更新するなど月末にかけて堅調な展開が続きました。結局、タウ平均は35,819.56(前月比+5.84%)、ナスダック総合指数は15,498.39(前月比+7.27%)、S&P500指数は4,605.38(前月比+6.91%)で終了しました。

欧州株式市場は、ユーロ圏消費者物価指数(CPI)が市場予想を上回ったことからインフレ加速懸念が広がり続落してしまいましたが、翌5日には押し目買いの動きからITおよび銀行関連株が買われ反発しました。その後も不安定な展開が続きましたが原油高を背景にエネルギー関連株が買われ上旬は上昇して来ました。中旬に入ると独景況感指数の予想外の悪化やインフレ加速への懸念から上値の重い展開となりましたが、月央には欧州企業の好決算への期待感から買いが優勢となりました。その後も中国の景気減速が相場を重しとなった一方で米欧企業の堅調な決算を受けて上昇基調を維持しました。下旬に入っても中国恒大集団の債務危機に対する懸念が一旦後退したことや企業決算への期待感から堅調に推移しました。英FTSE100指数は7,237.57(前月比+2.13%)、仏CAC40指数は6,830.34(前月比+4.76%)、独DAX指数は15,688.77(前月比+2.81%)で終わっています。

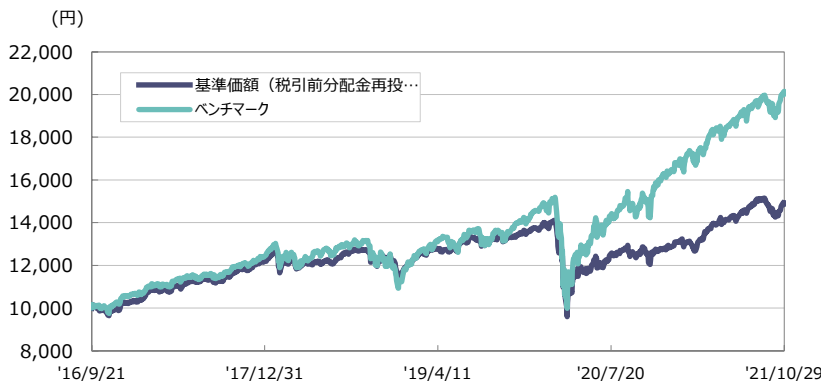
アジア株式市場では、オーストラリア市場はインフレ指標の上振れによる早期利上げ観測を背景に小幅の下落となりました。香港市場はIT業界に対する規制強化懸念が後退し上昇しました。豪ASX200指数は7,323.74(前月比-0.11%)、香港ハンセン指数は25,377.24(前月比+3.26%)で終わりました。

外国為替市場は、米国における早期利上げ観測の高まりが日米金利差の拡大に繋がったことを背景に日本円は米ドルに対して下落しました。また米ドル以外の主要国通貨に対しても円安が進行しました。円は対米ドルで月間1.56%下落の113.67円となりました。

MSCIコクサイ指数パフォーマンスは前月比+7.34%となりました。

設定来の基準価額(税引前分配金込)の推移

2021年10月29日現在



※ベンチマークは、MSCI コクサイ指数（円ヘッジベース）で、ファンド設定日を10,000 として換算し直しています。

※基準価額（税引前分配金再投資）は、信託報酬（後述の「ファンドにかかる手数料について」参照）控除後の値です。

基準価額騰落率（税引前分配金再投資）

	ファンド	ベンチマーク	差
1ヶ月	3.19%	5.24%	-2.05%
3ヶ月	0.93%	3.71%	-2.78%
6ヶ月	7.42%	9.37%	-1.95%
1年	23.42%	40.15%	-16.73%
3年	22.97%	66.41%	-43.44%
設定来	49.35%	101.64%	-52.29%

※当ファンドの決算時に分配金があった場合に、その税引前分配金で当ファンドを購入（再投資）したとして計算した騰落率です。

上位10銘柄※

銘柄名	投資国	業種	比率
BLACKSTONE INC	アメリカ	各種金融	1.8%
MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.7%
TARGET CORP	アメリカ	小売	1.7%
ORACLE CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.6%
ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.6%
MERCK KGAA	ドイツ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.4%
WESFARMERS LIMITED	オーストラリア	小売	1.4%
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	1.4%
UNITED PARCEL -B	アメリカ	運輸	1.3%
QUEST DIAGNOSTIC	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	1.3%

上位国構成比※

上位国構成比※	比率
アメリカ	68.2%
オーストラリア	5.0%
スイス	4.3%
香港	3.8%
ドイツ	3.8%
カナダ	3.4%
オランダ	2.3%
シンガポール	1.5%
フランス	1.3%
フィンランド	1.1%

上位業種構成比※

上位業種構成比※	比率
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	11.9%
食品・生活必需品小売り	11.1%
ヘルスケア機器・サービス	10.8%
電気通信サービス	8.3%
食品・飲料・タバコ	6.7%
テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.4%
ソフトウェア・サービス	5.2%
小売り	4.9%
各種金融	4.9%
運輸	3.9%

※比率はマザーファンド純資産総額対比です。

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社（以下「弊社」とします）が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に有価証券等に投資するため、組入れた有価証券等の値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。

また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

<MA(マルチアセット)ファンドシリーズ>

ステート・ストリート先進国株式・低ボラティリティ・アルファ・オープン(為替ヘッジあり)

追加型／海外／株式

月次運用報告書

設定・運用:ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ファンドの目的・特色

当ファンドは、MA(マルチアセット)ファンドシリーズ[※]の一つであり、日本を除く世界の主要国の株式を投資対象とした「グローバル・マネージド・ボラティリティ・アルファ・マザーファンド」受益証券に投資し、また実質的な組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行うことにより、中長期的にMSCI コクサイ指数(円ヘッジベース)の動きを上回る投資成果を目指して運用を行うことを基本とします。

- 1 マザーファンドへの投資を通じて、日本を除く世界の主要国の株式市場に投資します。
- 2 ステート・ストリート・グループ独自開発の計量的手法に基づいた銘柄選択と低ボラティリティ運用の利点を融合させることによって、株式ポートフォリオのボラティリティ水準を低位に維持しながら、中長期的にMSCI コクサイ指数(円ヘッジベース)の動きを上回る投資成果を目指して運用を行うことを基本とします。
- 3 当ファンドは、「ファミリーファンド方式」により運用を行います。
- 4 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

[※] MA(マルチアセット)ファンドシリーズとは、日本および海外の幅広い資産クラスを投資対象とし、各種指数に連動した投資成果を目指して運用を行うインデックス型商品等の総称です。

投資リスク

当ファンドは、主にマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除く世界の主要国の株式に分散投資を行いますが、主として以下に掲げる要因等により基準価額が大きく変動する場合がありますので、受益権のお申込者はこの点を充分にご理解頂いたうえ、当ファンドの受益権へのお申込みを行って下さい。なお、当ファンドは、金融機関の預金とは異なり、元本が保証されている商品ではなく、信託財産に生じた利益および損失は、すべて当ファンドの受益者に帰属します。

したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

なお、投資信託は預貯金とは異なります。

当ファンドの主なリスクおよび留意点は以下のとおりですが、当ファンドのリスクおよび留意点を完全に網羅しておりませんのでご注意ください。また、ファンドのリスクは以下に限定されるものではありません。

<基準価額の主な変動要因>

株価変動リスク

当ファンドは、日本を除く世界主要国の株式を実質的な主要投資対象としていることから、株式の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は、個々の企業の活動および業績、経営方針、ならびに法令順守の状況等に反応して変動するほか、投資対象国の経済情勢および景気見通し、ならびに金利変動、為替相場およびそれらの見通し等にも反応して変動します。従って、マザーファンドに組み入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落する可能性があります。

信用リスク

当ファンドは、日本を除く世界主要国の株式を実質的な主要投資対象としていることから、世界主要国の株式の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により損失を被ることがあります。また、金融商品取引の相手方や受託者の決済不履行または債務不履行等により損失を被ることがあります。

為替変動リスク

当ファンドは、原則として為替ヘッジを行い、為替リスクの低減を図りますが、為替リスクを完全に排除できるものではありません。また、為替ヘッジを行うにあたり、ヘッジコストがかかります。

ヘッジコストとは、為替ヘッジに伴う経費を指し、一般的に日本(円)と投資対象国(ヘッジ対象通貨)の短期金利差に相当します。日本よりも投資対象国の短期金利が高い場合、この金利差分がヘッジコストとして収益の低下要因となります。

流動性リスク

投資対象となる有価証券の市場規模や取引量が少ない状況や解約資金を手当てするために実質的に保有する有価証券を大量に売却しなければならない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

また、解約資金の手当てが間に合わず、売却した有価証券等の売却代金回収までの期間、一時的に当ファンドで資金借入を行うことにより解約金の支払いに対応する場合があります、その場合の借入金利は当ファンドが負担することになります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社(以下「弊社」とします)が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に有価証券等に投資するため、組入れた有価証券等の値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

<MA(マルチアセット)ファンドシリーズ>

ステート・ストリート先進国株式・低ボラティリティ・アルファ・オープン(為替ヘッジあり)

追加型／海外／株式

月次運用報告書

設定・運用:ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ファンドにかかる手数料について

- ◆申込手数料／換金(解約)手数料…ありません。
- ◆信託報酬…ファンド純資産総額に年 0.594%*(税抜 0.54%)の率を乗じて得た額とします。
- ◆信託財産留保額…一部解約請求時に、一部解約請求日の翌営業日の基準価額に 0.20%の率を乗じて得た額とします。
- ◆監査費用…ファンド純資産総額に年 0.011%(税抜年 0.01%)を乗じて得た額とします。
- ◆その他の費用・手数料…信託事務の処理等に要する諸費用、有価証券等売買時の売買委託手数料、資産を海外で保管する場合の費用等がファンドから支払われます。これらは、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

収益分配金に関する留意事項

- ◆分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ◆分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ◆投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【販売会社】

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 195 号	○	—	○	○	○

※販売会社は今後変更となる可能性があります。

【受託会社】

受託会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
三菱 UFJ 信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第 33 号	○	—	—	○	—
(再信託先:日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	(登録金融機関) (関東財務局長(登金)第 603 号)	(○)	(—)	(—)	(—)	(—)

【委託会社】

委託会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 345 号	○	○	○	—	—

《お知らせ》

ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニーは、受託している運用の指図に関する権限について、平成 29 年 6 月 1 日付にて下記のステート・ストリート・グループの新会社に譲渡しました。なお、新会社への譲渡後も、運用の体制やプロセス、投資方針等に変更はありません。

商号:ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ・トラスト・カンパニー

所在地:アメリカ合衆国マサチューセッツ州ボストン市

- 本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。
- 本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社(以下「弊社」とします)が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。
- 本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。
- 本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。
- 当ファンドは主に有価証券等に投資するため、組入れた有価証券等の値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。